

## V 日高振興局

### 1. 重点プロジェクト【梅産地の競争力強化と労働力確保対策】

#### ～ウメ「南高」の低樹高化技術による省力化現地研修～

農業水産振興課では、うめ研究所、JA紀州等と連携し、ウメ「南高」の低樹高化技術（カットバック処理）による青梅生産性の向上に取り組んでいる。

カットバック処理は、樹高や着果位置を下げることにより、青梅収穫等の作業が容易となる一方、主枝を切り戻した分、一時的に結果枝が減少する。そこで、初夏に新梢の摘心処理（4月、5月の2回）を行い、本来は徒長枝となる枝を結果枝化した上で、秋冬期にカットバック処理を実施することにより、収量を確保しながら、冬季のせん定作業の省力化も図ることができる。

摘心処理（1次）の現地研修会を、4月22日に日高川町松瀬地区（参加者10名）、4月27日にみなべ町西本庄地区（参加者4名）において開催し、参加した梅生産者に充電式電動バリカンによる摘心処理の方法を指導した。

参加者からは、「いつもの作業にひと手間加えるだけでこれほど着果が増えるなら価値がある」、「自園でも試してみたい」といった意見があった。

今後は、摘心処理（2次）講習会を5月中下旬に、カットバック処理及びせん定講習会を11月下旬頃に開催する予定である。



摘心処理の体験及び実演（左：日高川町松瀬、右：みなべ町西本庄）

## 2. 令和4年度「農トレ！ひだか」 ～第1回セミナー開催～

4月21日、日高地方4Hクラブ連絡協議会（会長：岡有輝氏）と農業水産振興課の共催により、管内の若手農業者や新規就農者等を対象とした研修会「農トレ！ひだか」の第1回セミナーを印南町公民館大ホールで開催した。日高地方4Hクラブ員14名および一般参加者3名の計17名が参加した。

今回は、安心安全な農業人生をおくるための知識について学ぶことを目的とし、（一社）和歌山県農業会議 農業者年金総合指導員の向井元治氏、紀州農業協同組合 営農企画課長の上道博之氏、農業水産振興課の松本大普及指導員から講義が行われた。

まず、向井氏による講演「農業者年金について（安心で豊かな老後をサポート）」では、老後の生活資金や公的年金の種類、仕組み、各年金の比較について、さらに農業者年金の必要性について話を聞いた。次に、松本普及指導員から、農作業安全の基礎として、農作業事故の事例や安全に農作業を行うためのポイントについて話を聞いた。続けて上道氏による「農業者のための労災保険について」の講演があり、労働保険（労災保険・雇用保険）の概要と加入方法や加入することの効果について説明を受けた。

参加者は熱心に聴講し、セミナー終了後には「老後や事故、労災等への備えについて改めて考えるきっかけになった」、「年金の大切さや農作業事故防止の心がけの重要性がよく分かった」等の感想が聞かれた。

今後は、8月頃に第2回目、11～2月頃に第3回目の「農トレ！ひだか」の開催を予定している。



松本普及指導員による農作業安全の説明



上道氏による労災保険についての講演